

Smile Woman!
インタビュー①
この人の仕事のかたち
どこか置いてある「仕事」をしているあの人にズームアップ。



Miyabi Inoue

専門医の見地から 女性の悩みを解消

岡山市の中心部・表町商店街の一角に、昨春秋に開院した「みやびウロギネクリニック」。ウロギネとは、女性の泌尿器に関する症状を、泌尿器科と婦人科の双方の領域から捉えようとするもの。またまた一般的な認知は低いものの、女性のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)を高める医療のあり方として、医学界でも注目度が高まっている考え方やひとつ。院長の井上雅先生は、岡山や近隣でも数少ないウロギネ専門医として、本誌の「教えて！ウロギネドクター」にも隔月でコラム執筆をお願いしている女性ドクターだ。

◎父親の病気がきっかけで医学の道へ

教員のこの両親の間に生まれ、元来医学とは無縁だった井上先生。「高校生の時に父が心筋梗塞で倒れ、生後2歳の頃から回復した時の感動がきっかけで、医師になりたいと決めました」と話す。一方で、「大学受験の時、医学部を受けたことは直前まで伝えず、両親を驚かせました(笑)」と、やや破天荒な側面も。そうして高知医科大学へ進み、卒業し医局に入る際、「当時専門医の女性比率が9%だったこともあって」と、泌尿器科医になることを決断。その後は岡大附属病院、岡山中央病院、岡山労災病院の泌尿器科や婦人科での勤務や、途中中大学院での研究・博士号取得を経て、昨年クリニックを開院。「総合病院は医局ごとの分業体制で、二人の患者さんに対して泌尿器科・婦人科の横断的な処置はどうしても難しい面がありましたから」と独立開業の経緯を語る。

◎数少ないウロギネ専門医として

同院は、ウロギネを専門的に取り扱う数少ないクリニックとして、尿もれ・頻尿などの悩みをかかえる女性が、県内はもとより、隣県からも多数かっける。井上先生は、「泌尿器科と婦人科を右往左往しても改善が見られなかった症例でも、ウロギネ専門医の処置で改善するケースは多々ありますし、症状的には尿失禁でも実際は膀胱炎だったり、不正出血と受診された方が実は膀胱がんによる血尿だったというケースがありますから、症状や悩みのある方は早めに相談していただくように」と話す。

◎先進的な医療技術の探究を

プライベートでは、内科医である主人との間に中学生・小学生の2人の子どもをもつ井上先生。火曜と日曜の週2日の休診日も、火曜日はおへの執刀、日曜日は家事などではほとんど休む暇はないという。しかしその忙し中でも、学会などに積極的に参加し新しい治療法や医療技術の取得には余念がない。「日進月歩の医学の知識・技術の吸収は必須ですし、成長をやめてルーチンワーク化するのには私の本意ではないですから」とポジティブに笑う井上先生。多くの女性のデリケートな悩みを、先進的な医療技術で救い続けている。

みやびウロギネクリニック

院長

井上 雅 先生

www.miyabirogine.com

0809126231100